地方自治法第199条第14項の規定に基づき、措置を講じた旨の通知がありましたので、次のとおり公表します。

令和7年8月19日

今治市監査委員 木原盛展
同 永井隆文

監査対象機関	監査結果報告書の日付
出納室	令和7年7月9日
<p>(監査の結果)</p> <p>(指摘)</p> <p>1 今回の行政監査において、今治市準公金取扱要綱（以下、要綱という。）のおおりの運用がなされていない課が複数あったので、要綱について周知を徹底するとともに、定期的な調査や指導をされたい。</p> <p>(意見)</p> <p>1 より適正な準公金の管理に向けて、今治市準公金取扱要綱の内容について継続して見直しを図られたい。</p>	
<p>(措置の内容)</p> <p>(指摘)</p> <p>1 今治市準公金取扱要綱の内容について、今回の指摘項目及びその対応方法を具体的に明記し周知するとともに、準公金についても、公金に準じた適正な管理及び取扱いがなされるように、以下の体制を構築する。</p> <p>準公金管理者及び会計担当者の届出を提出させるようにし、一括で管理する。</p> <p>【各部署が管理する準公金（出先機関除く）】</p> <p>出納室は、各部署が管理する準公金について、毎年、準公金の管理状況調査を実施し、直接その確認と指導を実施する（4年で全部署を調査）。</p>	

【出先機関が管理する準公金】

出先機関の所管課は、準公金の取扱いについて、出先機関任せにするのではなく、適切な管理が行われているか、年1回直接その確認と指導を行う。

(意見)

- 1 適正な準公金の管理ができるように、必要に応じて要綱の見直しを進める。